



APPENDIX **F**

DHCP オプション 43 の設定

この付録では、Cisco Catalyst 3750 シリーズ スイッチなどの DHCP サーバを Cisco Aironet 危険場所設置用アクセス ポイントで使用できるように、DHCP オプション 43 を設定する手順について説明します。この付録の内容は、次のとおりです。

- [概要 \(F-2 ページ\)](#)
- [1100、1130、1200、1240、1250、1300、1520、および 1550 シリーズ アクセス ポイントのオプション 43 の設定 \(F-3 ページ\)](#)

概要

ここでは、DHCP サーバを Cisco Aironet アクセス ポイントで使用できるようにするための DHCP オプション 43 の設定例を示します。その他の DHCP サーバの実装に関する DHCP オプション 43 の設定については、DHCP サーバの製品マニュアルを参照してください。オプション 43 では、コントローラ管理インターフェイスの IP アドレスを使用します。



注

DHCP オプション 43 では、1 つの DHCP プールを 1 種類のアクセス ポイントだけに割り当てることができます。アクセス ポイントの種類別に、異なる DHCP プールを設定する必要があります。

Cisco Aironet 1000、1500、および 1552 シリーズ アクセス ポイントでは、DHCP オプション 43 にカンマ区切りストリング形式を使用します。他の Cisco Aironet アクセス ポイントは、DHCP オプション 43 に Type-Length-Value (TLV) 形式を使用します。DHCP サーバは、アクセス ポイントの DHCP Vendor Class Identifier (VCI; ベンダー クラス ID) 文字列 (DHCP オプション 60) に基づいてオプションを返すようにプログラミングされている必要があります。表 F-1 は、Lightweight モードで動作する Cisco アクセス ポイントの VCI ストリングを示しています。

表 F-1 Lightweight アクセス ポイントの VCI ストリング

アクセス ポイント	Vendor Class Identifier (VCI)
Cisco Aironet 1000 シリーズ	Airespace.AP1200
Cisco Aironet 1100 シリーズ	Cisco AP c1100
Cisco Aironet 1130 シリーズ	Cisco AP c1130
Cisco Aironet 1200 シリーズ	Cisco AP c1200
Cisco Aironet 1240 シリーズ	Cisco AP c1240
Cisco Aironet 1250 シリーズ	Cisco AP c1250
Cisco Aironet 1300 シリーズ	Cisco AP c1300
Cisco Aironet 1500 シリーズ	Cisco AP c1500 ¹
	Cisco AP.OAP1500 ² 、Cisco AP.LAP1510 ² 、または Cisco AP.LAP1505 ²
	Airespace.AP1200 ³
Cisco Aironet 1520 シリーズ	Cisco AP c1520
Cisco Aironet 1550 シリーズ	Cisco AP c1550

1. コントローラがリリース 4.1 以降の場合。
2. コントローラがリリース 4.0 の場合、VCI はモデルごとに異なります。
3. コントローラがリリース 3.2 の場合。

1100、1130、1200、1240、1250、1300、1520、および 1552 アクセス ポイントに対応した TLV ブロックの形式を次に示します。

- 型: 0xf1 (十進数では 241)
- 長さ: コントローラの IP アドレス数 * 4
- 値: WLC 管理インターフェイスのリスト

1100、1130、1200、1240、1250、1300、1520、および 1550 シリーズ アクセス ポイントのオプション 43 の設定

組み込みの Cisco IOS DHCP サーバを使用して、Cisco Aironet 1100、1130、1200、1240、1250、1300、1520、および 1550 シリーズのアクセス ポイント用に DHCP オプション 43 を設定する手順は、次のとおりです。

- ステップ 1** Cisco IOS の CLI でコンフィギュレーション モードに切り替えます。
- ステップ 2** デフォルトのルータやネーム サーバなどの必要なパラメータを指定して、DHCP プールを作成します。DHCP プールの作成に使用するコマンドは次のとおりです。

```
ip dhcp pool pool name
network IP Network Netmask
default-router Default router
dns-server DNS Server
```

それぞれの説明は次のとおりです。

pool name は、DHCP プールの名前です(例:AP1550)。
IP Network は、コントローラがあるネットワーク IP アドレス(10.0.15.1 など)です。
Netmask はサブネット マスク(255.255.255.0 など)です。
Default router は、デフォルト ルータの IP アドレス(10.0.0.1 など)です。
DNS Server は、DNS サーバの IP アドレス(10.0.10.2 など)です。

- ステップ 3** 次の構文に従って、オプション 60 の行を追加します。

```
option 60 ascii "VCI string"
```

VCI のストリングには、表 F-1 の値を使用します。引用符は必ず含める必要があります。

- ステップ 4** 次の構文に従って、オプション 43 の行を追加します。

```
option 43 hex hex string
```

16 進数文字列は、下に示すように TLV 値を連結することによって作成されたものです。

型 + 長さ + 値

型は、常に *f1* (16 進数)です。長さは、コントローラの管理 IP アドレスの数に 4 を掛けた値です (16 進数)。値には、コントローラの IP アドレスを順番に指定します(16 進数)。

たとえば、管理インターフェイスの IP アドレス 10.126.126.2 および 10.127.127.2 を持ったコントローラが 2 つあるとします。型は、*f1* (16 進数)です。長さは、 $2 * 4 = 8 = 08$ (16 進数)です。IP アドレスは、*0a7e7e02* および *0a7f7f02* に変換されます。文字列を組み合わせ、*f1080a7e7e020a7f7f02* と指定します。DHCP スコープに追加された結果の Cisco IOS コマンドは、次のとおりです。

```
option 43 hex f1080a7e7e020a7f7f02
```

